

月日	区分	意見・質問	回答
5/24	質問	道佛地区に人口が増え、笠原小と東小の児童が増えているとのことだが、農地を宅地にすることで須賀小と百間小も子供たちが増えるのではないかと。 宮代町は通勤圏で立地もものすごくよい。 幸手や杉戸でも空いている農地に家を建てるような対策をしていたと思う。 そういう事例も参考にしたいのか聞きたい。	道佛地区の人口が増えたのは、区画整理事業を実施したことが大きな要因です。したがって別の地区で区画整理事業を実施し、新しい住宅地を整備すれば人口が増えるとは思いますが。 しかし、住宅開発を行うためには、都市計画の変更が必要で、国・県との協議が必要となります。日本全体が人口減少社会に突入し、国・県が、宅地をこれ以上広げるということに対して今消極的な姿勢にあり、宮代では、新しい住宅地を作ることが、非常に難しいと聞いています。 杉戸町や幸手市でも学校の適正配置の取組が進んでいます。 宮代町でも様々な活性化策を第5次総合計画の中で進めていきたいと思っております。 まちづくりを進めることで人口の減少を抑制する、子供の数が減らない可能性もありますので、毎年度子供の数やまちづくりの状況を検証しながら取組を進めていきたいと思っております。
5/24	質問	今回笠原小と東小のエリアは人口が増え、子供も増えているとのことだが、通学区域を変更することで道佛地区から百小に行く、逆に学園台のほうから須賀小へ行くことで平準化できないか。 統合に反対ではないが、無理に東小にプレハブ校舎を建てるよりはいいのではないかと。	宮代町にはそれぞれの学校に通学するための通学区域があります。 原則居住学区の学校に通学することになりますが、宮代町では一定のエリアに調整区域を設けており、道佛地区は東小又は笠原小に通うエリアとなっています。 また、平成15年度の入学者からは町内のどの学校でも選択できる自由選択制を宮代町は導入をしております。これは宮代町の教育の特色でもあると考えています。 通学区域は地域性や地理的条件、地域のつながりを考慮して編成することになっています。 人数の平準化を目的化にすると、通学距離や地域性をあまり考慮しないで設定をするということになり、また5年・10年単位で通学区域が変わってしまうことにもなりかねません。2つの学校に近いエリアの方たちの通学する学校が不安定化してくることもあり、平準化という点で通学区域を変更するというのは現時点では難しいかなと思っております。 小学校は地域の中心施設なので、地域のつながりや歩いて通学できる範囲に残していきたいと思っております。
5/24	意見	統廃合することによって、経費が削減され、ある程度メリットがあると思うが、多少デメリットも出てくることだと思う。 国とか県はかなり節約になるらしいが、あまり町としてはそれほど金額的に節約はできないということ。 統廃合することによって、小学校1年生が何kmも離れた学校に行くためにはスクールバスみたいなのを用意しないと通学できないこともあると思う。 統廃合に反対ではないが、町・町民に負担が大きいかからない形で考えてもらいたい。	今回の適正配置の取組というのは経費とかそういったものを削減しようという主旨ではなく、子供たちにとってどういった教育環境を提供するのが一番良いのかという視点で考えたものです。 その視点から、積み上げてきたこれまでの経緯がありますので、その点についてはご理解いただければ幸いです。
5/24	質問	今子供が小学校に通っている。うちの子が中学校上がるときは今のままという説明だった。 前原中は部活動が少なく、選ぶものが限られており、百間中いいなと正直思うこともある。 現状の対策について、今の子はそのまま数年後も現状のままなのかということを知りたい。	中学校については当面3校を維持し、令和9年度から将来的な子供の数や学校教育制度の状況等を踏まえて、どうすればよいか再検討させていただきたいと思っております。 今の流れですとおそらく子供の数は減っていくということになると思っておりますので、中学校については、将来的には3校から1校に再編を目指す方向です。 部活動につきましてはやりたい部活がなかなか見つからないことがおそらくでてくるかなと思っております。これは百間中学校でも須賀中学校でも同じような状況が多かれ少なかれあります。 今の時代、様々な地域スポーツもあり、クラブ活動など、部活とは別に取り組むようなスポーツ団体もありますのでそれも選択肢の1つになると思っております。 宮代町は学校の自由選択制を行っておりますので、どうしてもやりたい部活がこの中学校しかないということであれば、そういう選択も含めてご検討いただければと思います。
5/24	質問	すでに建物自体は60年経ち、百小なども耐震工事などはしていると思うが、再編が決まってから実際に建築して終わるまでにまたもうしばらく時間がかかると思う。 その間の、その耐震面・設備面は大丈夫か。 私たちがまだまだ小さい子供がいるので、その頃が学校行って築70年で、地震が起きたら大変なときにちょっと心配だなと思っている。	学校には限らず、図書館ですとか総合体育館等を含めて、こうした構造物は実際に整備した時点から老朽化がスタートしていきます。 町内の小中学校については、老朽化が進んでいます。設備面でも課題もありますので、早期に再整備に着手したいと考えています。 また、学校の日々の施設管理についてはしっかりと行わせていただいて、通っているお子様達に影響が出ないように努力をしていきたいと思っております。